

日時：令和7年9月3日（水）19:00～

場所：阿弥陀地域交流センター 多目的ホール

第11回JR曾根駅周辺地区まちづくり協議会

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

1) 頂いた意見の紹介

【資料1】

2) 意見交換

【資料2】

3) 次回の検討項目の整理

4 その他

5 閉会

・副会長あいさつ

JR 曾根駅前広場に求められる機能について（意見集約結果）

1. 交流機能

駅を単に通過するだけの場所ではなく、多様な世代の人々が集い、一休みしたり、会話を楽しんだりできる「まちの顔」として整備してほしいというご意見や、駅から目的地にスムーズにたどり付けるように交通のハブ機能を整備してほしいというご意見が寄せられました。

● 滞留・休憩スペースの創出

- ・雨や日差しをしのげる屋根やパーゴラ（日除け棚）のあるベンチを十分に設置してほしい。
- ・気軽に飲み物や軽食を購入できるコンビニエンスストアやカフェ、テナントビルなどを誘致してほしい。
- ・多数の自動販売機と、購入したものをその場で飲食できるイートインスペースを設け、学生から高齢者までが利用できる空間を確保してほしい。

● にぎわいと活動の場の創出

- ・夏場に子どもたちが安全に水遊びを楽しめるよう、地面から水が噴き出すような親水施設を設けてほしい。
- ・市民が管理する花壇や、季節を演出するイルミネーションを設置し、訪れる人の目を楽しませる彩りのある空間にしてほしい。

● 情報・文化の発信拠点

- ・公共交通の時刻表やハイキングマップ、観光案内など、地域情報を発信するデジタルサイネージや案内板を設置してほしい。
- ・地域の学生や団体が作成したアート作品などを展示できるスペースを設け、文化的な魅力を高めてほしい。

● 多様な利用への対応

- ・親子向けのプレイエリアや、高齢者も利用できる健康遊具、バスケットゴール等のミニスポーツエリアを整備してほしい。（※安全性に配慮し、駅前ではなく近隣公園への設置を望む意見もあり）
- ・ペット連れで利用できるよう、水飲み場やリードフックを備えた専用エリアを設けてほしい。
- ・地域の農産物や特産品を販売する朝市や、季節ごとのイベントが開催できる、給電・給水機能を備えた多目的広場を整備してほしい。

2. 防災機能

近年の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、駅前広場が災害時における地域の防災拠点として重要な役割を果たすことへの強い要望が寄せられました。発災直後から復旧期に至るまで、地域の安全・安心を支える機能が求められています。

● 避難・復旧支援拠点としての整備

- ・災害時に一時避難場所として活用できる広場を確保し、救助活動や物資輸送のための緊急車両・ドローンの発着場としても活用できるように整備してほしい。
- ・将来的には、被災者のための仮設住宅建設地としても活用できるような設計を検討してほしい。
- ・(旧)自動車学校跡地を防災公園として整備し、駅前広場と一体的に運用することで、防災機能を強化してはどうか。

● 防災設備の充実

- ・非常食、飲料水、救急セット、簡易トイレなどを備蓄する倉庫を設置してほしい。
- ・断水や停電に備え、耐震性貯水槽や地下貯水機能、自家発電・蓄電システム（太陽光発電含む）、非常用電源等を導入してほしい。
- ・災害時には無料で飲料等を提供できる、災害対応型の自動販売機を設置してほしい。
- ・土山駅のように平時はベンチとして、災害時には炊き出し台としても利用できる多機能な設備を導入してほしい。

● 減災・安全対策

- ・大雨や台風の際に、利用者が安全に雨をしのげる屋根付きの空間を広く確保してほしい。
- ・集中豪雨による浸水被害を軽減するため、雨水を地下に浸透させる透水性舗装を採用してほしい。
- ・地震や火災等の発生を迅速に知らせる警報システムやスピーカーを完備してほしい。

3. その他必要な機能に関する意見

日常的な利用において、すべての人がストレスなく、安全・快適に過ごせる空間づくりに関するご意見です。ユニバーサルデザインの視点や、現代のライフスタイルに対応した機能が求められています。

● 生活利便機能の導入

- ・行政の出張所（住民票発行など）や銀行 ATM など、日常生活に必要なサービス機能が欲しい。
- ・特に駅南口には、誰もが利用しやすい清潔なトイレを設置してほしい。

● ユニバーサルデザインとバリアフリー

- ・段差のないスロープや視覚障がい者用誘導ブロック、音声案内システムを整備し、年齢や障害の有無に関わらず、すべての人が安心して利用できる広場にしてほしい。

● 快適な環境整備

- ・フリーWi-Fi やスマートフォンの充電ステーションを整備し、情報収集や連絡手段の確保といった現代的なニーズに対応してほしい。
- ・電車の待ち時間に学生が勉強できるようなスタンディングデスク等を備えた学習スペースを設けてほしい。
- ・夜間でも安心して通行できるように、広場全体を明るくする LED 照明や防犯カメラを設置し、犯罪の抑止に繋げてほしい。
- ・ロータリーから駅まで続く屋根や休憩スペース（ベンチ等）の設置

● 景観への配慮

- ・高御位山の石を活用するなど、地域の歴史や文化を象徴するモニュメントを設置し、市民が愛着を持てる「地域の顔」となるような広場にしてほしい。

● 安全性の向上

- ・防犯カメラや派出所を設置してほしい。
- ・高砂西ランプの交差点の東側に南北の横断歩道を整備してほしい。（セブンイレブンからガソリンスタンドまで）

4. 新たなモビリティの導入に関する意見

駅を中心とした交通結節点としての機能を強化し、様々な交通手段とのスムーズな乗り換えを実現すること、また、駅周辺の交通課題を解決することへのご意見が寄せられました。

● 公共交通・新たなモビリティへの対応

- ・地域内を巡回するコミュニティバスのルート見直しや便数強化を行ってほしい。
- ・健康増進や環境負荷軽減にも繋がるレンタルサイクルや、セニアカー・電動キックボード等のパーソナルモビリティの専用置き場を整備してほしい。

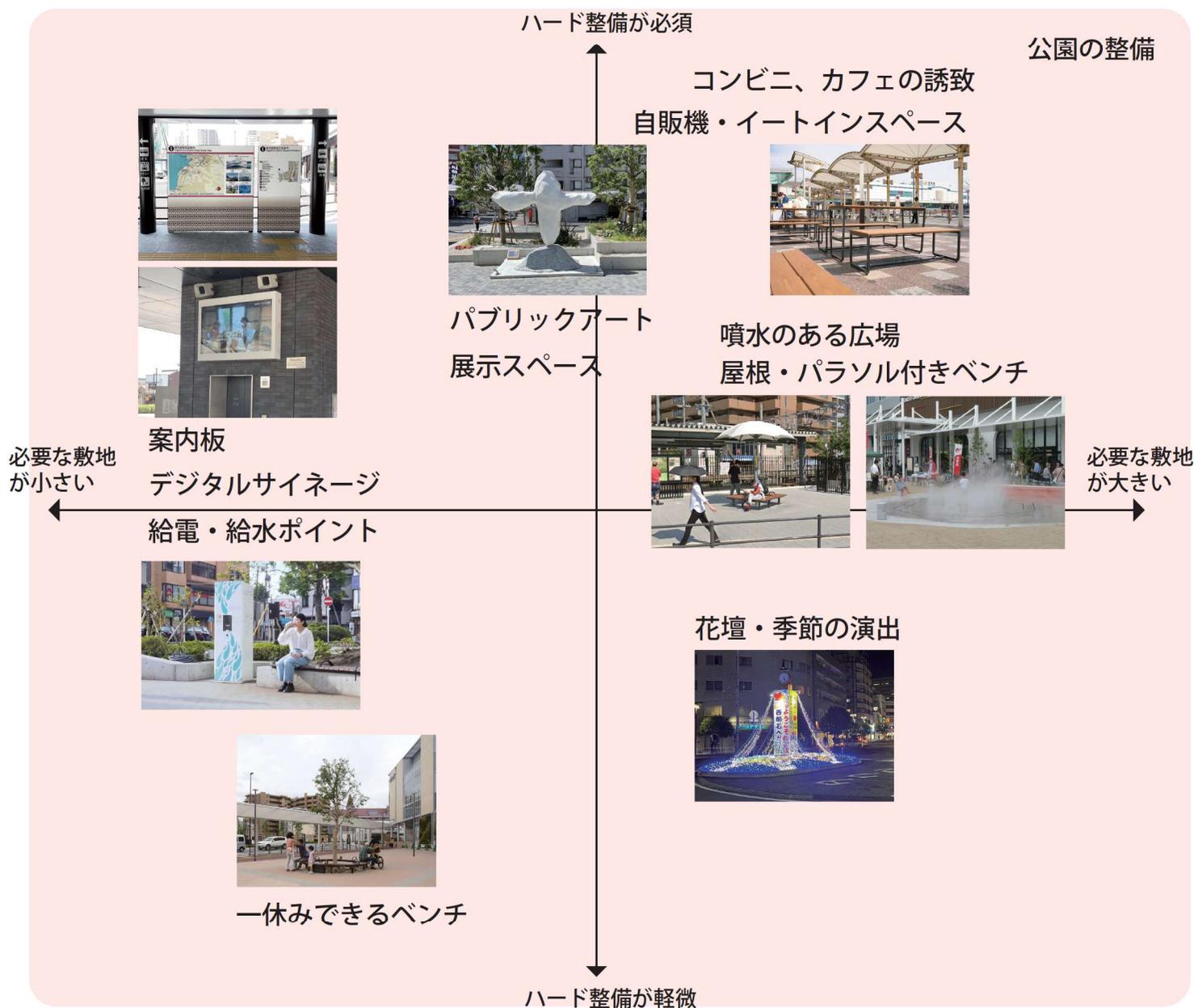
● 歩行者・自動車交通

- ・新たなモビリティ導入よりも、まずは誰もが安全で歩きやすい歩道を整備することを優先すべき。
- ・歩行者の安全確保のため、時間帯や交通量に応じて車両をしてほしい。
- ・駅利用者のための駐車場を整備・拡充してほしい。
- ・駅南側へのアクセス道路が悪い、周辺道路が狭く複雑であるため、道路網全体の整理や改善が必要。特に、バイパス事故時に一般道へ交通が集中し渋滞する問題への対策を講じてほしい。
- ・北側ロータリー東側のT字路の信号期の設置（通勤通学時の安全確保、混雑緩和）
- ・春日野町川沿いの車道を拡幅してほしい。

○魅力的な駅前広場の整備についてのご意見

No.	交流機能に関する意見	防災機能に関する意見	その他必要な機能に関する意見	新たなモビリティの導入に関する意見
1	様々な世代が滞留、一休み出来る、そこで生まれる交流が促進されるような機能があると良いと思います (exベンチ)	雨がしのげる機能があれば良いと思います。	官公庁の出張所等の行政住民サービスの窓口があれば良いと思います	モビリティを導入するより、歩きやすい、休める歩道がよいと思います。
2	少し休憩できるように、コンビニエンスストア、カフェの誘致	断水や停電に備えて、耐震性貯水槽や自家発電設備などを整備		
3	JR土山駅のような災害防災機能の整備及び施設	大雨、台風等の雨天対策	行政サービスの一環としての機能、BK等の機能	コミュニティバスの巡回、駐車場機能の強化 (便数等)
4	駅を単に通勤・通学するだけの場所とせず、その周辺には人が集い、そこで人的交流が図れるよう整備することを求めたい。例えば、開発される駅南に各種の自販機を数多く設置し、イートインスペースも合わせて設置するなど、そこで人の交流が図れる空間を確保することを求めたい。勿論、監理、運営面、治安維持など、配慮すべき課題も同時に存在するが。	仮に駅南に広大なスペースが今後確保できるのなら、地上には開発エリア外からの駅利用者のための駐車場を、地下には自然災害 (大雨、河川氾濫による洪水) 対策としての貯水機能を有する空間を、さらに災害発生後、緊急避難を余儀なくされた市民の仮設住宅建設地へとその姿を変貌させるよう整備することが必要では。		上記防災機能と関連するが、平時において電気・ガス・水道・通信・交通という5大インフラ整備を今の時点で計画していくことが求められるのでは。
5	地域住民だけでなく、外部との交流が深まり、地域のにぎわい・活性化につながる機能 ・給電・給水機能を備えたイベント対応広場 ・屋根・パラソル付ベンチ ・地域情報発信デジタルサイネージ ・花壇、季節演出照明	一時避難・復旧支援の機能 ・非常用電源の設置 ・防災物資、簡易トイレを備えた倉庫 ・緊急車両・ドローン発着場として活用出来る多目的広場	・バリアフリー動線 ・夜間のLED照明、防犯カメラ	レンタルサイクル
6	地域住民やハイカーなど来訪者が、世代を超えて楽しみ学べる場 ●地域のこどもや学生が活躍できる場(パブリックアート) ・学校や地域団体が参加できる展示スペースを待合空間に設置 住民によるアート作品を展示し、文化的な魅力を向上 ※駅構内通路でも良い。 ●インフォメーション案内板 ・公共交通情報やハイキングマップ、観光案内など地域情報を提供する案内板を設置 (※地域のフォトジェニックなスポットも案内) ・地域の歴史や祭り、文化を紹介するミニライブラリーを設置 ●交流広場とベンチ ・ベンチや休憩スペース、日陰をつくるパーゴラ、市民花壇などの緑地を設置 ・全世代向けのプレイエリア ※安全上、駅前広場ではなく、近隣の緑地公園に設置 ・親子が安心して遊べるプレイエリアの整備 ・シニア、障害者も利用できる「インクルーシブ遊具」の設置 ・ペット専用エリア(水飲み場、リード用フック) ・健康促進ゾーン(懸垂器具、腹筋ベンチ、ストレッチ器具など) ・ミニスポーツエリア (バスケットゴール、小型クライミングウォールなど)	地域住民やハイカーなどの安全を守り、減災にもつながる機能を持たせる。 ●緊急避難場所と避難経路 ・地域の避難経路や避難所情報、災害時の連絡手段を平時から案内板で表示 ●防災用備蓄倉庫 ・非常食、飲料水、救急セットなどを備えた倉庫を設置 ※更新できる範囲とし、地域の既存機能の補完的役割とする。 ●災害対応型自動販売機 ・災害時に無料で飲料や非常食を提供できる自動販売機を設置 ●警報、見守りシステム ・地震や火災などの緊急時に迅速に周知できる警報システムやスピーカーを完備 ・見守りカメラを設置し、異常を早期に発見できる仕組みを導入 ●太陽光発電と蓄電システム ・自給自足で電力供給できるシステムを構築 ・充電スポットを整備し、スマートフォンの充電や避難テントの冷暖房などに対応 ・夜間でも停電時に稼働可能な照明を設置し、安全を確保 ●多機能ベンチ ・雨水再利用型のトイレや、災害時には簡易トイレになるベンチを設置 ・炊き出し台として利用可能なベンチを設置 ●透水性舗装の歩道 ・豪雨時の浸水被害を軽減する透水性舗装を採用し、転倒事故を抑制	バリアフリー設計やWi-Fi、充電ステーションといった利便性につながる機能 ●バリアフリー設計 ・段差のない設計や滑りにくい素材の採用 ・スロープや視覚障害者用誘導ブロック、音声案内システムを整備 ●全天候型シェルター ・強風や豪雨時に安全に過ごせる「全天候型シェルター」や屋根付きスペースを設置 ●Wi-Fiと充電ステーション ・フリーWi-Fiや、スマホ充電スポットを整備し、高校生やハイカーの利便性を向上 ●学習スペース ・電車待ちの高校生などが勉強できるスペース(スタンディングデスクなど)を提供 ●モニュメント ・地元の歴史や文化を取り入れた装飾やモニュメントを設置 ※高御位山の石など (「SNS映え」を意識したデザインに地域の石工 (いしく) が加工)	パーソナルモビリティ置き場の整備 ●超小型モビリティ (パーソナルモビリティ) 置き場の整備 ・シニアカーや電動キックボード等の利用者が公共交通に乗り換えられるよう整備 ラストワンマイルの解消
7	多目的広場として朝一やイベントとして使用出来る子どもたちが遊べる地面からの噴水が出て涼を楽しめる	ベンチを作り、休める状態にする。(横にもなれる) トイレの設置 (南口に)		
8	曾根駅南へのアクセスが悪い。バイパスが事故の時に一般道に車が集中するので対策が必要	自動車学校が使えるなら、防災公園を設置する	道が狭く複雑なため、すっきりした道路にする必要あり	
9	地元住民や通勤、通学、登山他仕事や周辺施設使用者等がスムーズに各々の目的場所へアクセスできる利用しやすい場所としてのハブ機能の充実の方が交流機能より望まれる	駅施設そのものの耐震性が強固であることは勿論、その他非常用の電源、蓄電池、水道、トイレ等を災害時にも対応出来る設備を整える。	悪天候 (雨・風) や夏の熱中症予防のための日除けになるものとして、ロータリー周辺から駅へ続くまでの屋根及びベンチの設置	JR曾根駅のアクセスをよりスムーズに利用者の安心安全を確保するために、※JR曾根駅北側ロータリー東側のT字路の信号機の設置を強く望む。 理由①特に朝の通勤通学時のラッシュ ②国道2号線駅利用のアクセス→危険、混雑緩和
10	・テナントビル (コンビニ、トイレ)	・土山駅のような広場とベンチがコンロになるような設備 ・防災時に使用する場合は熱中症対策で屋根があるといい。	・防犯カメラ (設置費、維持費は高砂市で) ・派出所 ・春日野バイパス沿いセブンイレブンコンビニから南側がガソリンスタンドまでの横断歩道を作って欲しい。(高齢者が信号をわたるには、一度東側に行かないといけなため)	・駅南に市のバス停、タクシー乗り場 ・交通量に応じて (阿弥陀町内) 時間帯などの車両規制を必要に応じてしてほしい (安全確保のため) ・春日野町川沿い西側点線部分の道路幅の拡張の決定が欲しい (安全確保の為)

交流機能に対するご意見



利用のイメージ

- ・通勤・通学だけの場所とせず、交流が図れる場とする。
- ・登山や仕事など、外部の人々との交流を深め活性化につなげる。

公園の整備

- ・全世代向けのプレイエリア
- ・ペット専用エリア
- ・ミニスポーツエリア

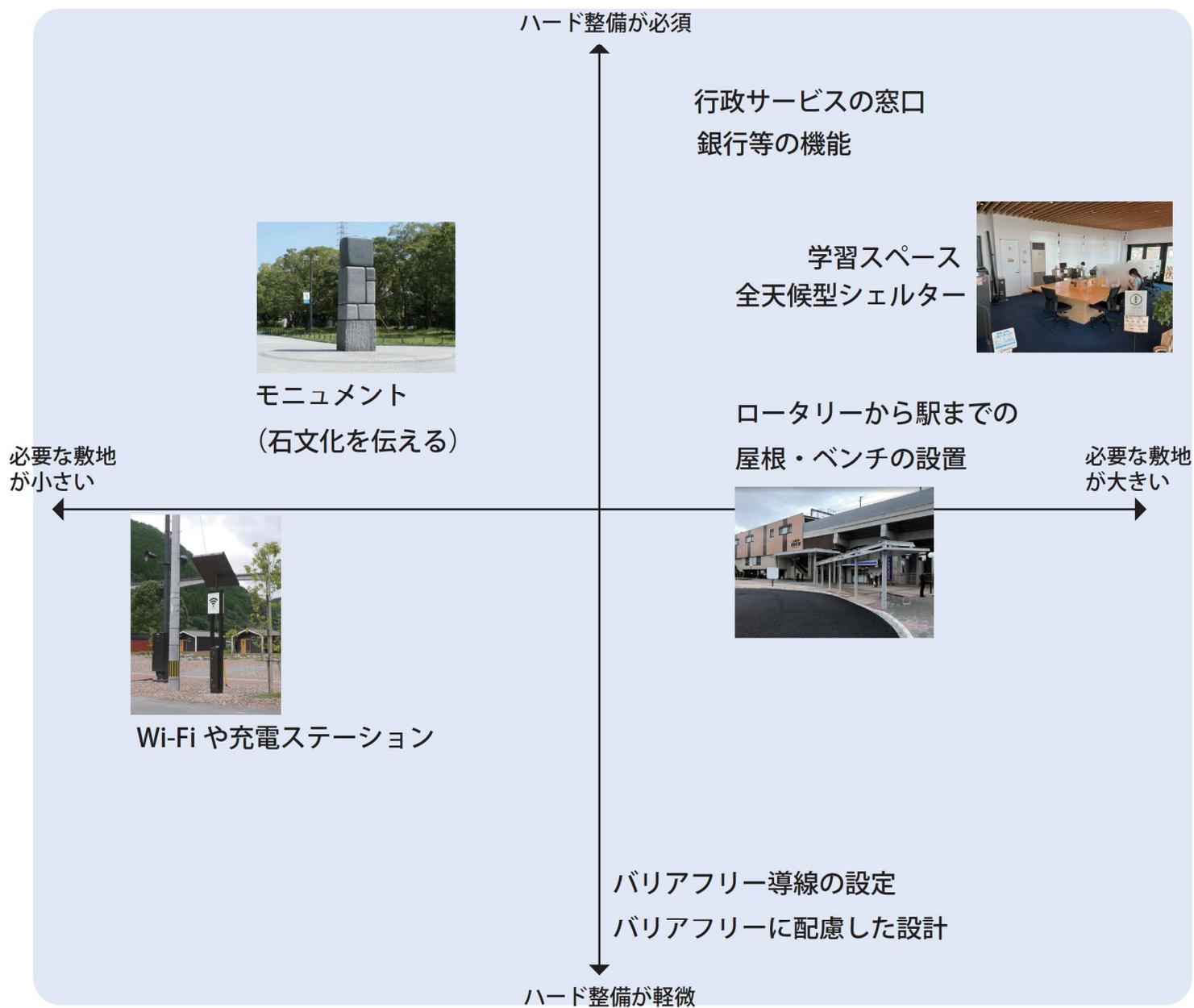
防災機能に対するご意見



利用のイメージ

- ・地域住民や登山客などの来訪者の安全を守り、減災にもつながる機能を持つ。
- ・大規模な土地利用が可能なら、大規模な雨水貯留機能や災害発生時の仮設住宅用地などに利用できる土地利用が望ましい。

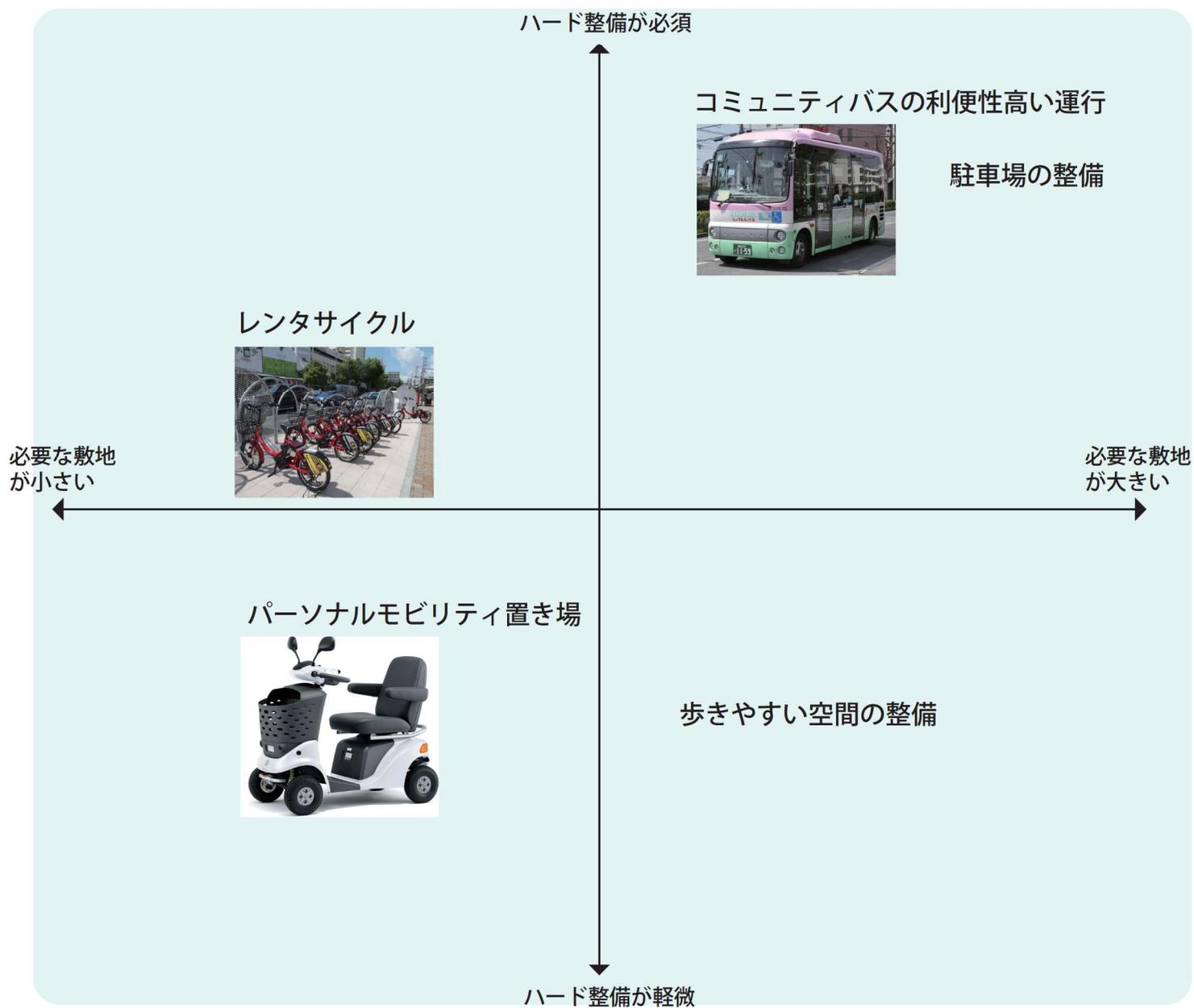
その他機能に対するご意見



利用のイメージ

- 誰でも利用しやすいバリアフリーな駅前空間とする。
- 駅の機能に付加して利便性を高める施設を誘致・整備する。

新たなモビリティの導入に対するご意見



利用のイメージ

- ・自宅から駅へのアクセス、利便性を向上させる。(コミュニティバスや駐車場、モビリティ置き場)
- ・来訪者の利便性を高めるレンタサイクルやコミュニティバスの運行。

曾根駅周辺まちづくりワークショップ

(グループ討議)

- ワークショップは、参加者全員の意見が重要です。遠慮せずに積極的に発言しましょう。
- 他の人の意見をよく聞き、異なる意見にも耳を傾けましょう。
- 他の参加者と交流を深め、ともにまちづくりを考えることを楽しみましょう。

話合いの進め方

○アンケートで頂いた「魅力的な駅前広場の整備について」のご意見毎について議論を深めましょう。

【ステップ1】 →アンケート意見を参考に漏れがないか確認

- ・頂いたご意見、整理した資料を参考に、付け足しや新たなアイデアなどがあれば、付箋に記入してください。

【ステップ2】 →重要度の高い項目を抽出

- ・各機能に関して、重要度の高い項目を話し合しましょう。
(曾根駅にあると魅力が高まるもの、頂いたご意見の中でも優先度が高いと思われるものなど)
- ・懸念事項がある場合は、付箋に記入して記録に残してください。